

こもれび

題字 北村正平市長



東海四県スポーツ推進委員研究大会
(2/3)にて

第28号

- ・後期ニューススポーツ教室(9/5～10/31)
- ・第5回ワンバウンドふらば～る大会(10/2)
- ・スポーツ&健康フェスタ(12/10)
- ・第16回藤枝リパティ駅伝(1/15)
- ・東海四県スポーツ推進委員研究大会(2/3)
- ・志太地区スポーツ推進委員交流大会(2/25)
- ・第30回記念ふじえだマラソン(3/5)

編集・発行
藤枝市スポーツ推進委員会
広報部

2023年3月



後期ニューススポーツ教室

ワンバウンドふらば～る教室 9/8～10/20 稲葉小学校体育館

令和4年度後期のワンバウンドふらば～る教室のスタッフに選ばれました。それも「指導主任」というおまけ付きで。スポーツ推進委員になってからまだ三年のペーペーに、果たしてこの大役が務まるのか…。前期の主任だった牧田さんと杉山さんにアドバイスをいただいたものの、教室が始まるその日まで正直不安で一杯でした。しかし教室責任者の田中さん、会場主任の坂田さんをはじめ、他の指導スタッフの皆さんのおかげで無事教室の最終日を迎えることができました。本当にありがとうございました。振り返ると指導主任らしいことは何もせず、半分自分も教室の参加者気分で楽しんでしまったなあと反省しています。それでも、生徒さんから「楽しかった。」という声を聞けたので、良かったかな？と少しだけ自己満足しておりますが、指導員の勉強不足(ルールについて)を指摘されたところもあるので、その辺りは今後の課題として受け止めなければいけないと思いました。

ワンバウンドふらば～るは、実際にやってみると絶対に楽しいスポーツだと確信しています。市民の皆さんにこの楽しさをもっと知ってもらえるよう、今後もふらば～るの普及に尽力していきたいと思います。

鈴木 正志

室内ペタンク教室 9/5～10/31 市民岡部体育館

今回のペタンク教室は、岡部体育館にて開催しました。

自分は教室指導員で参加し、教室を楽しく行う為に、対戦表とチーム分けを工夫しました。7回の教室の内4回目からは、対戦をメインに実施し、試合後、白熱した対戦の結果を発表しました。得失点差の微妙なスコアもあり、歓喜やどよめきもいただきました。

コロナの影響で、自治会の祭典やスポーツ大会等が中止になり、増々周りの方々とのコミュニケーション不足を感じる今日この頃であります。

最近は、コミュニケーションが、SNS中心ですが、人と人の触れ合いができるペタンクなど年齢や体力に関係なくやれるので、コミュニケーションツールとしてはいいのではないのでしょうか。早く以前の様な日常が戻る事を願っております。

竹山 正美



ミニランポウーク教室 9/8～10/29 れんげじスマイルホール

令和4年度のニュースポーツ教室が無事終了しました。

今年は推進員メンバー10名でミニランポウークの教室をスタートしました。教室には、初めてランポに乗る方、市内のランポウークの教室に通っている方など合計17名の方が参加してくれました。推進員の皆さんも研修時間の少ない中一生懸命教室を盛り上げてくれました。

ランポリンは楽しみながら運動効果が得られ、バランス感覚を養えます。足の裏全体で歩く事で脳の活性化や血液やリンパの流れをよくすることにつながります。ほかにも、体幹の筋肉も強化してくれます。

たくさんの人にランポリンの良さを知ってもらい健康の為に是非チャレンジしてもらいたいと思います。

長瀬 千賀子



第5回藤枝市ワンバウンドふらば〜る大会開催！

令和4年10月2日(日) 藤枝市民体育館

10チーム総勢70名の参加を集い、白熱した戦いを繰り広げ、皆さん楽しい一時を過ごしました。

今年度から推進委員になり、初めて大会の運営に参加させていただきました。選手の皆さんが笑顔でプレーを楽しんでいて、とてもいい大会になったと思います。その中でもやはり試合ですので真剣勝負もあり、審判としても身が引き締まる思いでした。選手の皆さんに満足して帰っていただくためにも、審判としての知識を高め、次に臨みたいと思います。教室の指導も参加できる機会がきましたら、楽しく適切に指導できるように頑張りたいと思います。

横山 敦志

令和4年度第5回藤枝市ワンバウンドふらば〜る大会が10月2日(日)藤枝市民体育館で行われました。10チームを2ブロックに分け、それぞれ5チームの総当たり、全20試合を3コートに分かれて行いました。

線審は空きチームの方が担当しましたが、大体の方は際どいところも明確にジャッジしてくださり、主審をしていて助かりました。一人、ラインから離れたところで自信なそうにジャッジしていた方がいたので、「ラインの延長線上に移動して見るといいよ」と優しく指導すると「なるほど」と納得してくれました。

教室参加者がチームを組んで大会に参加できたことはとてもいいことだと思います。

全体的に大きなトラブルもなく、参加者の皆さんも楽しくできました。

次回の大会はさらに多数の参加チームで行われることを期待しています。

高橋 康夫

参加チーム

Aブロック

🏆オアシス
チーム青南
源助五平
昔は美人
ぬかるみ

Bブロック

チーム稲瀬
フレッシュズブラック
チームふみふみ
お手玉会
🏆五十海



スポーツ&健康フェスタinふじえだ2022

令和4年12月10日(土) 静岡県武道館

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により3年ぶりに開催された藤枝市を代表するイベントスポーツ&健康フェスタが約1,000人来場者により盛大に行われました。

スポーツ推進委員になって2期目ですがコロナ禍で開催が無く、初めての参加でした。更に広報としてカメラ記録でしたのでカメラ目線でフェスタを見ると何のスポーツをしているのか？笑顔も欲しいと欲張れば尚更撮れなくなってしまいました。これは難しい！

色々なスポーツ紹介コーナーが有り、名前は知っていたけど初めての体験ができ面白かったです。

また体力年齢測定等各コーナーが有り、今の自分の体力を知る良い機会となりました。測定結果はなんと実年齢より12歳も若い52歳の体力年齢とのことで大いに喜びました。腰痛持ちではあるがこの体力を少しでも長く維持できるようこれからも運動して行こうと思いました。この事を妻に話すと来年は自分も是非受けてみたいと言ってます。来年の参加者1名ゲットです。

広報は先ず身内から少しずつですね。

山田 泰幸



12月13日 静岡新聞

第16回藤枝リバティ駅伝

令和5年1月15日(日) 大井川河川敷陸上競技場

小学生から一般男女混合まで総勢144チームの参加により、熱気を帯びた大会が開催されました。

「〇〇さん頑張れ～、あともう少しでタスキがつながるよ、ファイト！」

など、選手を励ます声援で朝から活気づく始まりでした。

スポーツ推進委員になって初めて参加したリバティ駅伝、まずたくさんの従事者がいることに驚きました。大会では、皆さんが楽しそうに走っている姿が印象的で、安全に滞りなく開催するのには、やはりたくさんの人の力が必要なのだなあと改めて感じ、また、藤枝市の中でも大きなイベントなんだなあとすぐに納得しました。そのスタッフの一員として、今回はコース上の係を担当しました。選手の走るスピード感が思った以上にあり、応援する人や選手同士がぶつからないか、注意しながら大会を見守っていました。

来年は参加するチームも増えることが予想されます。今年の実験を活かし、次の開催も選手達が笑顔で帰れるよう、大会スタッフとして参加したいと思います。来年度は今年以上に様々なイベントで、スタッフや参加者の笑顔が増えることを願っています。

横山 敦志

朝早く藤枝リバティ駅伝に初めて参加する為、家を出ました。他の推進委員から、駅伝はいつも寒いから温かい服装で行った方がいいと言われていましたが、その日は薄曇りで風はまったく吹いていなかったのも、絶好の駅伝日和になりました。私の係は受付で、その中の連絡係でした。出場確認表を各部署に届けるという役割でしたが、最初はその部署がどこにあるのかあまりよく分からないので苦労しました。しかし、ゼッケンを付けてくれたので2回目からは迷うことはありませんでした。一番最後に推進委員全員で駅伝選手の応援にゴール地点に並びました。一生懸命に走っている選手たちに、感動して拍手を送りました。

次はふじえだマラソンで立教大学の上野監督が参加するとのことで、とても楽しみにしています。

河原崎 敏幸



出場チーム数

小学生 20チーム
中学生男子 8チーム
中学生女子 3チーム
一般・高校生男子 36チーム
一般・高校生女子 6チーム
一般・高校生混合 71チーム

1月16日静岡新聞

大井川の風を受け
たすきつなぎ力走
藤枝で駅伝大会
第16回藤枝リパティ
駅伝（実行委主催）が
15日、藤枝市の大井川
河川敷陸上競技場を発



一斉にスタートする参加者＝藤枝市の大井川河川敷陸上競技場

着点に繋がれた。14
スで行われた。5人1
4チーム約720人が
チームでたすきを次走
者につなぐ。たすき
ランナーは沿道から
の応援を受けながら、
と1区間3区の中学
生、高校生・一般のクラ
走り抜けた。

朝早くに集合し、準備を始め
ました！



参加者を拍手で応援し
ました！

第70回東海四県スポーツ推進委員研究大会

令和5年2月3日(金) 愛知県岡崎市

藤枝市からは事務局含め、14名の参加により東海四県の研究大会へ参加してきました。例年は一泊二日での開催でしたが、今回は日帰りの日程になりました。来年は静岡県での開催で、藤枝市の活動報告も予定されています。

岡崎城の近くと思い込んでいた武道館は、城下ではなく、山を切り開いた岡崎中央総合公園にありました。

約120人の方の功労者表彰の後、光ヶ丘女子高ダンス部(総勢83名)の、アトラクションは圧巻でした。20人くらいのグループに分かれて、モダンダンス、創作ダンス、ジャズダンス、ヒップホップ等の演目を発表しました。全国優勝2回とのこと。以前、市内高校のチアリーダー部を観たことがあります。ジャンルは微妙に違うのですが、共通するのは、リズムが実に複雑なこと。今回は、「フラガール」のように、全篇「スマイル」のものが印象に残りました。肩の力を抜き、笑顔で演じ切るのは、容易ではないと思います。

続いて、プロフィギュアスケーター・鈴木明子氏の講演。現役アスリート時代に苦労された話は、以前に聞いていました。愛知県で勝ち抜くことは、難しいこと。上位選手の後について、下からは後輩が追い越して行く、厳しい立ち位置の話。競技を続けていく中で、体調を崩した際に、体が自分を守ろうと防衛本能が働き、どん底から立ち直った事に感動しました。等々、興味深い一時間でした。「技術を上げるのには時間が要るが、休めば一瞬で下がってしまう・・・それで今日も、朝来る前に、練習をして来ました」との話は、同感です。「貯金があるから、大丈夫」という、逆説の方も、たまにはありますが。

次は、三市町村の研究発表。来年度は藤枝市が発表との事。各地区にスポーツを普及させて行く過程や報告を、実演や動画を交えながら発表されました。種目では、「タグラグビー」、「ノルディック・ウォーク」、「ボッチャ」等を取り上げていました。分かりやすい説明と、充実している資料に、相当な準備と時間を要しているものと、感じました。

発表の後、助言者より講評がありました。予定時間を過ぎ、バスが迎えに来た為、途中で席を立ちました。この時、遠方の団体による途中退席が多く、「残った方々には気の毒」と、他の方も言っていました。

西に沈むきれいな夕陽に見送られ、夕闇が迫る中をバスは山を下り、一路、藤枝へ。

後日、すっかり鈴木明子氏のファンになった私が、講演の名残を惜しみ、鈴木氏の著書を開くのに、そう時間は掛かりませんでした。

細谷一男

今年度から任命を受けた新人には荷が重いと思いつつ何事も経験と思い参加してみました。岡崎中央総合公園武道館で開催され、東海四県から各市町村スポーツ推進委員(約1500人)を中心に各関係者を含め全体約1700人が参加という大規模なものでびっくりしました。スポーツ推進委員研究大会の目的をもとに「スポーツですべての人が生涯輝き、活躍できる地域づくり」を主題に進められました。議事は、関係者挨拶、各種功労者表彰、光ヶ丘女子高等学校ダンス部のアトラクション、講師鈴木明子氏の講演、愛知県大口町・豊明市・刈谷市の事例発表と続きました。特に良かったのは、全国大会一位の実績がある各種ダンスで感動しました。次にプロフィギアスケーター鈴木明子さんの講演、演題「新しい自分と生きる」は興味深くもう少し聞きたかった。残念だったのは事例発表の内容はとても興味深く良かったが、研究大会の事例発表としては時間枠が足りなかったように思いました。今回の経験は今後の推進委員活動に役立てたいと思います。

次年度は、静岡県での開催が予定されているようでどんなアトラクション・講演・事例発表になるのか今から楽しみで是非参加したいと思います。

藤沼 直志

元プロフィギアスケーターの
鈴木明子氏の講演を聞きました



愛知県の各市町の発
表を聞きました。

第30回記念ふじえだマラソン

令和5年3月5日(日) 藤の瀬会館

4年ぶりの開催となったふじえだマラソン今年は時の人となった立教大学男子駅伝部監督上野裕一郎氏を招き大会を待ち望んだ約1,000名の参加により大変盛り上がりしました。

令和5年3月5日第30回記念ふじえだマラソンが開催されました。

4年ぶりとなる久々の開催になりましたが、前日の準備から当日の大会終了まで、特に事故も無く、少し雨模様になってしまいましたが、無事終わることができました。

今大会は参加者数が4年前に比べ少ないながらも、ランナーの皆様が笑顔で走っている様子が、沿道で応援してくださった沢山の近隣住民の皆様とともに実感出来た大会でした。

また、今回はゲストで”走る監督”立教大学男子駅伝監督 上野裕一郎さんが参加し、素晴らしい感動の走りを目の前で見ることができ感無量でした。来年度はコロナ前の参加者数になると思われるふじえだマラソンを、参加して下さったランナーの皆様が、また、走りたくなるように思ってもらえるような素晴らしい大会にしたいです。

今回参加していただいたスポーツ推進委員の皆様の御協力や、事務局の皆様の大変な御尽力にて、大成功に終わったふじえだマラソンでしたが、来年度はさらなる大成功に向けて頑張っていきましょう。ありがとうございました。

後藤 和義

出場者数

ハーフマラソン 348人

10キロ 296人

5キロ 200人

3キロ 247人



3月7日静岡新聞



参加賞を配布しました！

検温チェックを行いました！



人事異動となりました

スポーツ振興課 水野 智仁

来年度から、福祉政策課へ異動となりました。
スポーツ推進委員事務局の仕事を1年間担当させていただき、スポーツ推進委員の皆さんには大変お世話になりました。今年度は、新型コロナの影響で中止となっていたイベントが再開され、久しぶりに開催されるイベントも多く、準備や当日の運営でご迷惑をかけた事もあったかと思います。
そのような中、各種イベントにご協力いただきありがとうございました。

今年度、スポーツ推進委員の皆さんと一緒に大会や教室の運営などで楽しく関わらせていただき、本当に良い経験をさせていただきました。ありがとうございました！お世話になりました！



編集後記

3月5日(日)ふじえだマラソンが三年ぶりに開催され、令和四年度の行事がすべて終了しました。三大イベントである、スポーツ&健康フェスタ・リバティ駅伝・ふじえだマラソンが開催され、コロナ禍であるものの以前の日常に戻ってきているのではないのでしょうか？令和五年度も、withコロナで各行事が進められたらいいと思います。皆で協力して盛り上げて行きましょう！

広報部長 朝比奈 友見